

## 青少年教育指導者等の研修事業

# 「大阿蘇青少年リーダー塾」

～ボランティア養成研修会・自然体験活動補助指導者養成研修会～  
～ボランティアスキルアップ研修会～

【主催】 国立阿蘇青少年交流の家

【後援】 九州各県・政令指定都市教育委員会

【期間】 ボランティア養成研修会・自然体験活動補助指導者養成研修会

平成22年6月26日(土)～27日(日) 1泊2日

ボランティアスキルアップ研修会

平成22年9月25日(土)～26日(日) 1泊2日

【会場】 国立阿蘇青少年交流の家

【参加者】 ボランティア養成研修会・自然体験活動補助指導者養成研修会78名

(高校生36名, 大学生37名, 一般5名)

ボランティアスキルアップ研修会71名

(高校生33名, 大学生28名, 一般10名)

【講師】 講義「青少年教育の理解(高校生対象)」

「ボランティア活動の意義(高校生対象)」

日本ボランティア学習協会 代表理事 興梠 寛 氏

講義「青少年教育の理解と学校における体験活動の意義(大学生以上対象)」

「ボランティア活動の意義(大学生以上対象)」

日本ボランティア学習協会 常任理事 木村 清一 氏

## 1 趣 旨

青少年教育施設におけるボランティア活動の基礎を培い、ボランティアとしての態度や能力を育てるとともに、自然体験活動補助指導者養成研修をととして、自然体験活動の補助指導者としての資質を高めることにより、ボランティア活動と自然体験活動の充実と普及を図る。

## 2 目 標

高校生

○ボランティアとしての資質と意欲を高める。

大学生以上

○ボランティア及び自然体験活動の補助指導者としての資質と意欲を高める。



開会行事の様子

### 3 事業展開

#### (1) ボランティア養成研修・補助指導者研修プログラム

| 日程          | 午 前                                                                | 午 後                                                           | 夜                                                                                                                 |
|-------------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6/26<br>(土) | ○開会式<br>○講義（高校生）<br>「青少年教育の理解」<br>○講義（大学生以上）<br>「青少年教育の理解と体験活動の意義」 | ○講義<br>「ボランティア活動の意義」<br>○講義・実習<br>「救命救急法」                     | ○講義<br>「青少年教育施設の現状と運営」<br>○講義（高校生）<br>「青少年教育施設におけるボランティア活動」<br>○講義（大学生以上）<br>「青少年教育施設におけるボランティア活動及び教育課程と体験活動の関連性」 |
| 6/27<br>(日) | ○講義・実習<br>「体験活動の指導法と安全管理（阿蘇のフィールドを生かした体験活動の指導法と安全管理）」              | ○講義・実習<br>「体験活動の指導法と安全管理（阿蘇のフィールドを生かした体験活動の指導法と安全管理）」<br>○閉会式 |                                                                                                                   |

#### (2) ボランティアスキルアップ研修プログラム

| 日程          | 午 前                                                                             | 午 後                                                                                                          | 夜                                                            |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 9/25<br>(土) | ○開会式<br>○講義<br>「青少年教育施設におけるボランティアの役割1」                                          | ○講義・演習<br>「青少年教育施設におけるボランティアの役割2（アクティビティの企画・立案）」<br>○講義・演習<br>「自然体験活動の技術と安全管理」<br>○実習<br>「テント設営とそれに関わる指導・支援」 | ○実習<br>「野外調理」<br>○講義・演習<br>「青少年教育施設におけるボランティアの役割3（退所点検に関して）」 |
| 9/26<br>(日) | ○実習<br>「テント撤収と退所点検」<br>○実習<br>「青少年教育施設におけるボランティアの役割4（アクティビティに関わる指導・支援）」<br>○閉会式 |                                                                                                              |                                                              |

#### (1) 目標達成のための手立て

##### ① ボランティア活動の理解を深める工夫

ボランティア活動の意義や重要性をしっかりと理解できるように、ボランティアに関わる理論や豊富な知識・経験を持つ講師に指導していただいた。自らの理論や実践などについて講義をしていただくことでボランティア活動の理解を深め、意欲を向上させることができると考えた。また、高校生と大学生・一般を分け、それぞれ実態に応じた講義を行うことで、内容を焦点化しながら少人数での指導ができるようにし、参加者一人一人がボランティア活動の理解を深められるようにした。



木村氏による講義の様子

##### ② 阿蘇のフィールドを生かした体験活動における指導法や安全管理の研修、ボランティアスキルアップ研修の実施

ボランティアを育成するためには、青少年教育及びボランティア活動の理解やボランティアとし

ての実践的な態度・技能の定着など様々な研修が必要である。そこで本事業においては、2回シリーズで実施し、1回目をボランティア養成研修・自然体験活動補助指導者養成研修、2回目をボランティアスキルアップ研修として位置付けた。1回目には、主に施設ボランティアや自然体験活動補助指導者養成に必須の研修を実施し、2回目には施設ボランティアや自然体験活動補助指導者としてのスキルを高める研修を行うようにした。本事業を2回に分けて実施したことで研修時間も十分に確保できるようになり、1回目には4時間をかけて、登山や沢登りに関わる阿蘇のフィールドを生かした体験活動における指導法や安全管理の研修を行った。また2回目には、アクティビティの企画・立案やその指導・支援、野外調理などの研修を行い、ボランティアや自然体験活動補助指導者としてのスキルが高められるようにした。特にアクティビティに関わる指導・支援においては、他の事業に参加している幼児に参加者が自分たちで企画したアクティビティを体験させるようにし、指導への意欲と実践力を高めるようにした。



登山をとおした研修

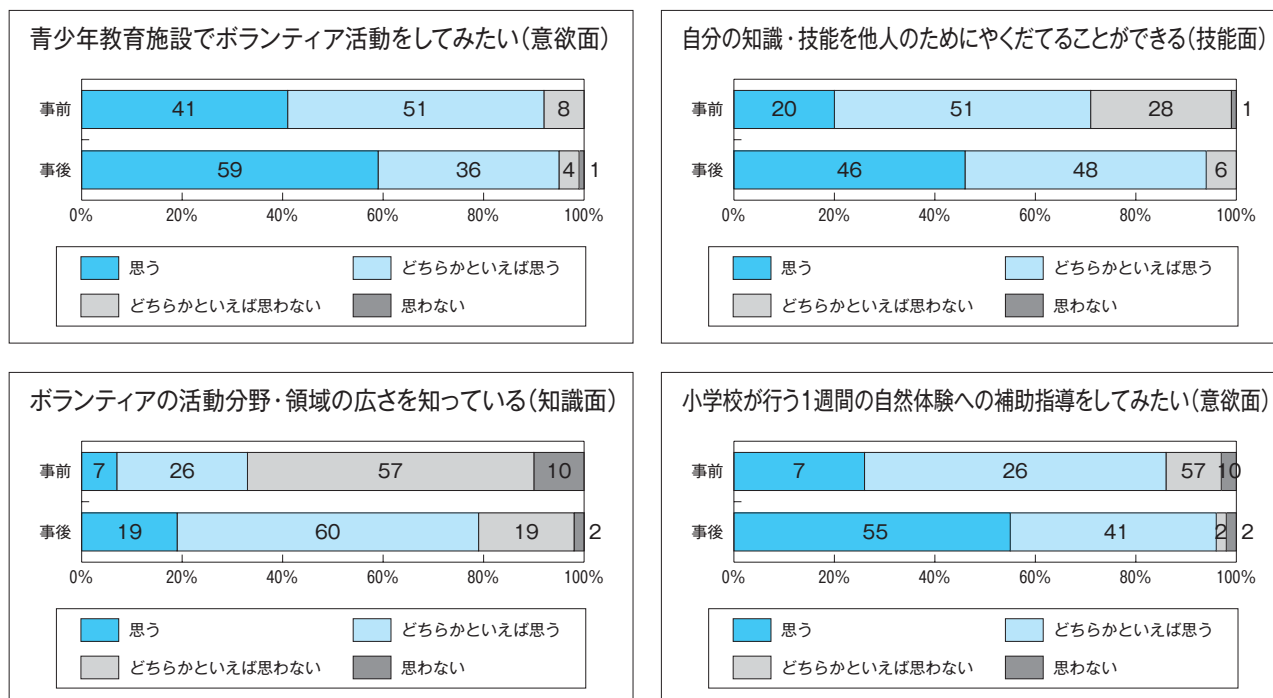
### ③ 自然体験活動補助指導者養成研修の実施

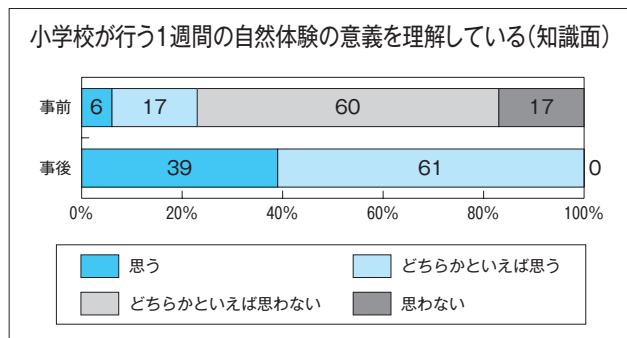
大学生以上については、ボランティア養成研修と併せて文部科学省の委託事業である自然体験活動補助指導者養成研修を実施した。このことにより、参加者が施設ボランティアに必要な研修だけでなく、学校教育における体験活動の意義や教育課程と体験活動の関連性など自然体験活動補助指導者に必要な研修も受けられるようにした。研修終了後は、自然体験活動補助指導者養成研修の修了証が発行されることから、参加者の自然体験活動への指導に関わる研修意欲や実践意欲を高め、自然体験活動の普及と充実にもつながるようにした。

## 4 結 果

参加者からのボランティアや自然体験活動に関するアンケート結果は次の通りである。

### (1) ボランティア養成研修会・自然体験活動補助指導者養成研修会におけるアンケート結果

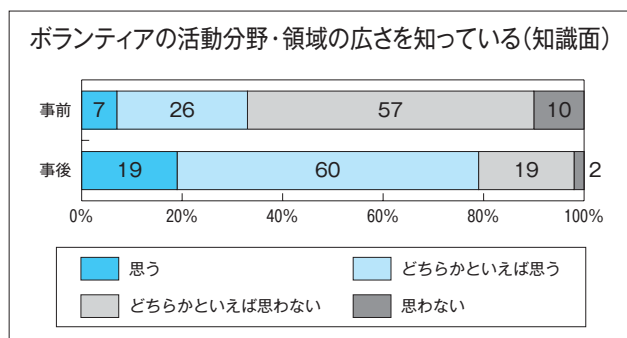
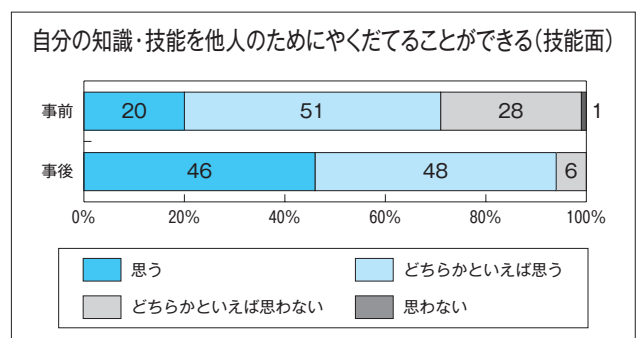
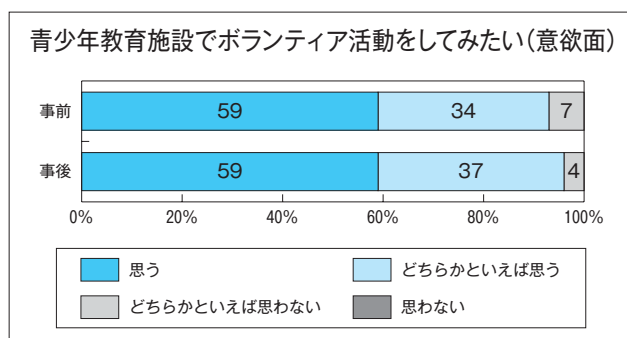




### 【参加者の声（アンケート記述）】

- ボランティアの大切さや意義が分かりよかった。また、ボランティアは自分のためでもあることに気付かされた。積極的にボランティアに取り組みたい。
- グループでの活動も多く、様々な人と協力し、交流できてうれしかった。
- 実際に登山をしたことで注意事項等を実感することができ、とてもよかった。また、救命救急法の内容もとても勉強になった。
- プログラムが過密で忙しかった。

### (2) ボランティアスキルアップ研修会におけるアンケート結果



### 【参加者の声（アンケート記述）】

- アクティビティの指導・支援において、他の事業とのコラボレーションによって実際に幼児とふれあう機会があり、楽しく実践的な内容を学ぶことができた。
- 研修をとおして自分が一回り成長したと思う。今後積極的にボランティアに参加したいと思った。
- さまざまな年代の人と交流しながら研修できて、いろいろな面で勉強になった。
- ボランティアに関わる実践的な研修内容が多かったため、もう少し講義があった方がよいのではないかと思った。



## 5 成果と課題

### (1) 成 果

- ① ボランティア養成研修会・自然体験活動補助指導者養成研修会前後のアンケート結果を見ると、ボランティア活動や自然体験活動に関する参加者の意欲面や技能面、知識面の意識に伸びが見られた。経験豊富な講師の話や、高校生と大学生・一般を分け、それぞれ実態に応じた講義を行ったことにより、ボランティア活動や自然体験活動に関する理解を深め、意欲の向上につながったことが考えられる。
- ② 本事業を2回に分けて実施したことにより、研修時間も十分に確保できるようになり、登山等に関わる研修やアクティビティの企画・立案やその指導・支援などの研修を、十分な時間をかけて行うことができた。それにより、登山等に関わる指導内容や指導上の留意点を参加者が実感をもって理解していることがアンケートからも伝わってきた。また、幼児に参加者が自分たちで企画したアクティビティを体験させるようにしたことで、参加者がボランティアとしての楽しさややりがいをより強く感じたという感想もあげられた。
- ③ 大学生以上については、ボランティア養成研修と併せて文部科学省の委託事業である自然体験活動補助指導者養成研修を実施し、自然体験活動補助指導者に必要な研修も受けられるようにした。これにより、大学生以上の参加者の自然体験活動に関する補助指導への意欲が高まり、知識が深まった様子が見られた。



アクティビティの企画と実施（スキルアップ研修会）

### (2) 課 題

- ① 研修内容の更なる充実を図るため、職員自身が自然体験活動やボランティア活動に関する研修を積み、それらに関わる知識を深め、実践や指導のスキルを高める必要がある。
- ② 参加者のボランティアや自然体験活動への知識や技能等の個人差は小さくないため、研修内容や指導・支援の在り方に配慮し、適切な研修資料の準備や個に応じた指導・支援を十分行う必要がある。



野外調理の実習（スキルアップ研修会）